

*New Creation Church in Kyoto since 1997*

# *Miracles*



2019年11月17日号 No.1180

ホームカミング！

主管牧師 藤林イザヤ

11-13日に、アンデレ宣教神学院のホームカミングが行われました。一般には「同窓会」というのでしようけれど、同志社などでも、このような言い方をします。中には、卒業をしてから、22年ぶりでいらしたという方もおられました。ビックリです。

私も、アンデレ宣教神学院が休校になってからは、とんとご無沙汰になっておりました。ですので、1年半ぶりの松山で

した。でも、教授会ではなく、卒業生が25名以上集まったのは、と



っても恵まれるひと時になったのでした。

内容は、実にシンプルです。互いがどんなことをやっているのかを、発表します。プレゼンです。まあ、実に個性が溢れていること。面白いこと、この上ないものでした。しかも、全員が牧師として働いていますから、語りが洗練されています。4年前に卒業した器も、まあ、見事な語りになっていました。立て板に水。

でも、何よりも楽しかったのは、福音宣教のために互いが心血を注いでいるのだ、ということが、改めて実感出来たことでした。また、私個人では、授業がありません。もちろん、メッセージを語る機会はあったのですが、それ以外は、ずっと聞いておれば良い……という、何と言う恵み。これは本当に面白かった。

具体的にも、様々な示唆を受けましたし、アイデアも与えられました。その昔、マッシュ・ポテト大会で感じた一体感でした。次は、3年後？楽しみです。

2019年11月17日(日) 聖日礼拝 11時00分

主題『少女の信仰』

説教者：今井直喜

聖書箇所 列王記下 5,1-5

5:1 アラムの王の軍司令官ナアマンは、主君に重んじられ、気に入られていた。主がかつて彼を用いてアラムに勝利を与えられたからである。この人は勇士であったが、重い皮膚病を患っていた。

5:2 アラム人がかつて部隊を編成して出動したとき、彼らはイスラエルの地から一人の少女を捕虜として連れて来て、ナアマンの妻の召し使いにしていた。

5:3 少女は女主人に言った。「御主人様がサマリアの預言者のところにおいてになれば、その重い皮膚病をいやしてもらえるでしょうに。」

5:4 ナアマンが主君のもとに行き、「イスラエルの地から来た娘がこのように言っています」と伝えと、

5:5 アラムの王は言った。「行くがよい。わたしもイスラエルの王に手紙を送ろう。」  
こうしてナアマンは銀十キカル、金六千シケル、着替えの服十着を携えて出かけた。

### 《重い皮膚病に患うナアマン将軍》

北イスラエル王国の隣国アラムにナアマンという名の将軍がいた。彼は主君に気に入られ、大いに用いられていた。将軍としても優秀で、自軍に勝利をもたらしていた。そんな彼にも悩みがあった。重い皮膚病に侵されていたのである。

Cf) レビ記 13,15 祭司はただれた皮膚を見たならば、その人に「あなたは汚れている」と言い渡す。ただれた肉は汚れており、それは重い皮膚病である。

### 《女主人に進言する奴隷の少女》

ナアマン将軍の家には、奴隷としてイスラエルの地から連れてこられた少女がいた。彼女は召使として、ナアマン将軍の妻に仕えていた。少女は主人であるナアマン将軍の皮膚病のことを知り、イスラエルには主人の悩みの種である病をいやすことができる預言者がいることを伝える。

Cf) 列王記下 5:3 少女は女主人に言った。「御主人様がサマリアの預言者のところにおいでになれば、その重い皮膚病をいやしてもらえるでしょう。」

### 《イスラエルの地に向かうナアマン将軍》

自分の病をいやすことができる人物がイスラエルにいると聞いて、ナアマン将軍は王にイスラエル行きの許しを求める。奴隷の少女の一言で、ナアマン将軍はイスラエルに向かう。

Cf) 列王記下 5:5 アラムの王は言った。「行くがよい。わたしもイスラエルの王に手紙を送ろう。」こうしてナアマンは銀十キカル、金六千シェケル、着替えの服十着を携えて出かけた。

(メッセージ・ポイント)

①周りの（ ）に左右されない幸せを  
つかみ取ろう。

Cf) フィリピ 4:11 物欲しさにこう言っているわけではありません。わたしは、自分の置かれた境遇に満足することを習い覚えたのです。4:12 貧しく暮らすすべも、豊かに暮らすすべも知っています。満腹していても、空腹であっても、物が有り余っていても不足していても、いついかなる場合にも対処する秘訣を授かっています。

②信じる心が（ ）を生み出すことを  
知ろう。

Cf) ヘブライ 11:3 信仰によって、わたしたちは、この世界が神の言葉によって創造され、従って見えるものは、目に見えているものからできたのではないことが分かるのです。

## 牧師の心（藤林邦夫の日記から）

1957年10月18日の続き

集会は新しい方の参加はなかった。放蕩息子のたとえを中心として神の愛を語った。子どもが多かったので十二分にアピールできた。感謝である。大西兄が明夜より広島  
の聖会に行くという。その教会の牧師が靴を磨きながら伝道してついには今、六十人位  
の教会にまでしたという。その話を聞いてその熱心さに打たれた。狂えり（キリストの  
ために）とパウロは言ったがそれ位神への忠誠がなければ多くの信者を動かして働かせ  
ることもできないと考える。何としても中途半端な所に留まっていないで常に聖言を伝  
え人の魂を獲得しなければ不可ない。そのたゆまぬ働きが神に喜ばれ更に大なる仕事を  
与えられるであろう。良き訓練を得た。自分の弱さは1：怠惰な心、2：人を恐れる心、  
3：確信のないこと、である。しかしこれは神の力によって打ち変えられるはずである。  
事実聖霊に満たされている時、それらは何処かへ飛んで行っているのである。常にこれ  
に勝利を握っていたいと切に願う。主よ、なんじの憐みにより僕をかえりみたまえ。

1957年10月19日 土曜日 曇

子ども会はアブラムの召命。語りにくい題材であったが、主の助けにより語り得た。  
づけ充実した一時間。しかし終わりの頃には疲れた子どももいた。やはり二人で持って  
いるとこういう時、気分転換ができて良いのであるが、一人では単調に流れるのであ  
ろう。特に自分の強い話では子どももしんどいであろうと察する。二週欠席した新見君  
のために祈っていたが主は答え給うて導きたもうた。感謝である。

1957年10月20日 日曜日 曇

うすら寒い初冬の感じのする朝であった。季節の移行の早いことに今更驚かされる。  
礼拝はトムソン氏の不在のために一瀬兄のリードで始まる。少々危なっかしい感じであ  
るが、しかしこれからも訓練して主のために用いられることを望んでやまない。出席者  
は、11名であった。今日は若い者たちが多かった。神は祈りに確実に答え給う神であ  
る。特に祈っていた二人を今朝導き給うて感謝である。下手な訪問するより神に申し上げ  
祈っている方が良い。特にとりなしの祈りは重要である。説教はロマ書4：6のダビ  
デの幸いは罪を許された幸いであったことをバテシバの話と関連づけて話した。

★今週の予定

2019年11月21日(木) BLD 祈禱会 アバハウス2階 19:30-

今週も主の語り掛けと御業を期待して集い、共に祈りましょう。メッセージは、加瀬宣雄師です。

★礼拝のご案内

日曜日 教会学校・New Creation Seminar 9:30- アバハウス3階  
聖日礼拝 11:00- アバハウス1・2・3階  
手話礼拝 11:00- アバハウス1階(第三週目の聖日礼拝)  
支援礼拝 13:30- アバハウス2階  
ろうあ者学び会 14:00- アバハウス3階(第三週日曜日)  
木曜祈禱会 19:30- アバハウス2階

★11月の予定

17日(日) 聖日礼拝 アバ 11:00- 今井直喜師 ※イザヤ師:ひばり  
19日(火) アグロー祈禱会 アバ2階 18:00-  
20日(水) ミラクワ定期練習 アバ2階 10:00-  
21日(木) BLD 祈禱会 アバ2階 19:30- 加瀬宣雄師  
24日(日) 聖日礼拝 アバ 11:00- 今井直喜師 ※イザヤ師:Bugio  
ミラクワ定期練習 アバ2階 15:00-  
27日(水) ミラクワ定期練習 アバ2階 10:00-  
28日(木) BLD 祈禱会 アバ2階 19:30-

◆2019年11月14日(木)の祈禱会出席者数 《合計20名》  
◆2019年11月10日(日)の礼拝出席者数 《合計62名》  
CS…12名 礼拝…32名 ズーム…10名 支援…10名

京都中央チャペル (αβα - HOUSE)

〒604-0845 京都市中京区烏丸御池上る二条殿町540

Tel: 075-229-3058 Fax: 075-229-3059

<http://www.chuochapel.com>

郵便振替 01090-3-52922 名義: 京都中央チャペル